

ちかひ



真他
実力

平成23年 法然上人八百回大遠忌

◆ 元祖法然上人八百回大遠忌ミニポスター ◆

◆ 目次 ◆

- 慈光(第十五回)
- 祖法然上人八百回大遠忌にむけて⑦
- 誓願寺縁起物語(第二十話(完))
- お釈迦さまのご生涯 2
- インド **ドタバタ** 夫婦道中記⑳
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.27
- 蘆菴山 許応院 崇福寺

せたいものです。

布教講習所所長
慈光院住職
鈴木 皓道



元祖法然上人八百回
大遠忌にむけて⑦

「法然さまのお言葉」くお伝記の中よりく

流刑はむしろ

ありがたい朝恩^{ちようおん}と考えるべき、

念仏によって、阿弥陀さまに

救われる。私たち念仏を信仰する者にとっては、ありがたくも知っていることであります。

一番始めに「念仏によって誰もが救われる」とお説き下さったのが、800年前の法然さまであります。生涯をかけて念仏を勧められました法然さまには、苦難がありました。念仏停止^{ちようじ}と言われる念仏を勧める僧侶を弾圧する出来事がありました。

念仏を勧める法然さまのお弟子さまが死罪・流刑となるなか、師である法然さまもその罪を迫られた時がありました。

その時の出来事です。

一番のお弟子さまが

「法然さま！ご師匠の島流しの

罪は、口に称える念仏を広めて

いるからと言うではありません

か。もう高齢でもありますし、遠

い国まで島流しでは、そのお体

が持ちません。命も危ないでし

よう。

どうか、表向きは、念仏を広め

ることを止めたと言うことにし

て、罪を軽くして戴くのはどう

うでしょうか。」

そのお弟子さまの言葉に、法

然さまは、

「私の念仏も、京の人々にはよく

よく解っていたいただきました。大

変な年月を経て成し遂げたこと

であります。

ですが、私が広めたい阿弥陀

さまの念仏は、決して京の人々

だけのものではありません。あ

らゆる職業の人々の念仏でもあ

るのです。

遠い国へ島流しされるのであ

れば、その行く先々立ち寄る村

の多くの人々に、ありがたい念

仏を広めることが出来ます。

流刑はむしろありがたい朝恩

と考えるべきでしょう。」

と、法然さま自身が、布教の旅

に出るかのようになつたりと

その流刑を受け入れたのであり

ます。お伝記の中には、『ちわい

2008お盆号』にありました

ように遊女に教化^{きようけ}され、また魚

の命を奪って生活をしているこ

とに迷っている漁師にも、今の

生活は間違いではなく、その生

活のまま念仏をすれば良いと勧

め、流刑の逗留^{とうりゅう}先に常に人が集

まり、念仏の尊さをお説き下さ

いました。

平成という現代に法然さまが

居られましたら何とおっしゃ

でしょうか？

「過酷な状況に置かれた時、そん

な時こそありがたいと考えるべ

きです。

努力なさい。

念仏ですぞ。」

こんな言葉が聞こえてきそうで

す。(布教師会)

誓願寺縁起物語【第二十話(完)】

小島 英裕

卿の大夫「貞氏」の
現身往生

応永年間(一二三九四〜一四二八)、

京都に郷の太夫「貞氏」という人が
いました。東北地方の出身ですが、

少年の頃より京都に住んでいます。

早くから善い心が芽ばえ、生死の無
常を悟り、世間の営みには心を掛け

ませんでした。優れた人でありまし

たが、学問や芸事は全て幻で無益な

ものと考え、ただ後世の極樂往生の

ことのみを深く思い、臭みの強い野

菜や酒、魚、肉を断ち、仏前での礼拝

以外、俗世間とは縁を切って暮し、

念仏を夜明けまで称えました。

特に誓願寺の本尊阿弥陀さまを

尊く思い、日夜足を運び、本尊を拝

するごとに身の毛が立ち、涙を流し



貞氏待つ来迎

念仏をすることがたびたびありま
した。嘉吉二年(一四四二)、八月十
四日の夜、夢の中に七十歳余りの

老僧が現れ、「あなたは我が浄土を
慕い、我が誓願を信ずること極め
て深く、一回の念仏でも大きな功
徳が得られるのに数年間の念仏は
なおさらです。あなたは今まさに
極樂往生の修行を成就されました。
夜が明ければ浄土へ導きましよう。
我は誓願寺の本尊なり。長い間我
を頼むので参りました」と告げま
した。

貞氏は、阿弥陀さまのお姿を心
に刻み、故郷へ帰る思いで、沐浴し
浄衣を着て、香を焚き端坐合掌し
て、一心に念仏して仏の来迎を待
ちました。昼になると紫雲が空に
たなびき、天より華が降り注ぎ、仏
さま、菩薩さまのお光で室内が輝
きました。貞氏は阿弥陀さまに導

かれ西方に去って行きました。人々
は目の当たりに来迎を拝み、不思
議な往生と歓喜の涙を流しました。

極樂往生を願う人々は、煩惱を
捨てた後、清らかな身とならせて
いただくのです。肉体を捨てるこ
となく、直ちに蓮台に生まれるこ
とができる事例が他にないわけ
ではありません。中国の古伝には
現身往生の人物が伝えられてい
ます。中国の法道和尚、日本の勝
尾寺の善仲・善算など、現身で極
樂に往生しています。二人の往生
からも貞氏の現身往生は少しの
疑いもなく、本当にありがたいも
のです。

(完)



お釈迦さまのご誕生

お釈迦さまのご生涯 2

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

誕生



摩耶夫人は臨月が近づき、実家の
ダイバダカ国に戻ることに
なりました。浄飯王はカピラ国からダイバダ
カ国の間の道を平らに直し、水芭蕉
がいっぱいに入った瓶や旗・のぼり
などで飾り、摩耶夫人を黄金の輿に
乗せ、千人の家臣に担がせ、大勢のお
供をつけて送り出しました。

途中兩國の間に、ルンビニー園と
言う見事なサーラ樹の森があり、そ
こで休憩をしていた時のことです。
摩耶夫人がサーラ樹の枝に手を伸ば
した時、突然産気づき右手をサーラ
樹につくと、右脇から子どもが生ま

れました。お釈迦さまのご誕生です。

生まれたばかりのお釈迦さまは、

四方八方あちこちに七歩ずつお歩き

になり、右手で天を指差し、左手で地

を指差しながら、「天上天下唯我独尊。
さんがいかうがとうどたつ

三界皆苦我当度脱。」(天の上にも天

の下にも私一人だけが尊い者である。

この世界は苦で満ち溢れている。私

は皆を救おう」とお唱えになられま

した。お歩みになられたその足元に

は蓮華の花が咲き乱れました。お釈

迦さまの誕生を喜び、二匹の龍王が

水とお湯を注ぎ、多くの天女が華を

散らしました。

お釈迦さまは悉達太子と名付けら

れました。浄飯王はアシタ仙人に太

子の将来を占ってもらいました。「こ

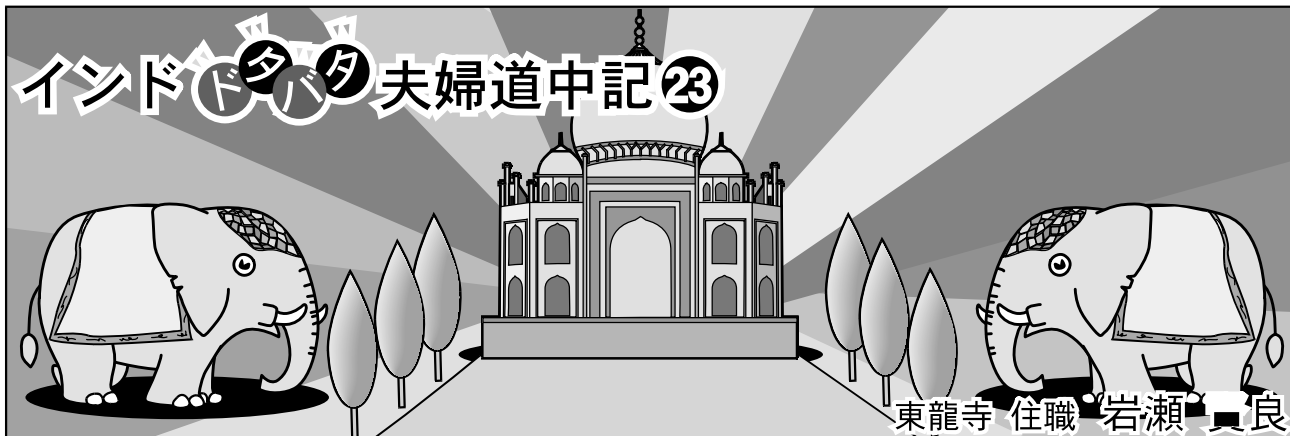
の子は将来、カピラ国の跡をお継ぎ

になれば立派な王様とおなりになら

れましょう。出家をなされば仏さま

となられましょう」と涙を流して予

言をしたのです。



駅にはいろんな風景が：

あまり長い時間、利子^{としこ}を一人待たせるのは不安だろうと思ひ、ほどほどにしてジャンシー駅に戻り、いつ来るとも知れない列車を待ちながら、広いホームの上を、何か珍しい物はないかと端から端まで歩き回った。

ブサワールに行く列車を待つ間、レストルームで交代で荷物の番をしなから、プラットホームに出たり入ったりして時間を潰した。ルームの臭には、トイレとシャワールームがあつたので、汗と埃^{ほこり}にまみれた身体をシャワーでサッパリさせた。言うまでもなく、水しか出ないシャワーである。

レストルームは、エアコンクラスやファーストクラス、寝台車クラス等の乗客と、セカンドクラスとは別々に設けてあり、出入り口には乗客をチエックするおばさんが椅子に腰掛けているが、別に何もしないで暇^{ひま}そうに乗客を見ているだけなのだ。

僕が荷物の番をしている時、ホームにいた利子が、「女の人が向かい

のホームで唄^{うた}ってるよ！」と、駆け込んだので、僕はICレコーダーを手にホームに出た。八九年に列車で移動中、車内で盲目の女性が朗々と唄っていたのがとても印象的で、今回は音の風景を残したいと思い、ICレコーダーを持参したのである。だが今回のターゲットは向かいのホームにいて距離がありすぎ、うまく録音できなかった。それに、彼女には申し訳ないが、以前の女性の歌声に比べるとあまり透明感がな

い様に思えた。
レストルームに戻り、僕が荷物番をしなから休み、利子はホームに出て暫く^{しばらく}してから再び帰って来ると、また新たな報告をし始めた。「ホームの端の方に行ったら、おばさん三人がしゃがんで話をしているのを何気なく眺めていると、しゃがんでいる足下から水が流れ出していて、

よくよく見たらオシッコだと気が付いた」と言うのだ。凄い物を見たという感じで話すのであるが、有り得ることだろうと僕は思った。サリーという民族衣装なら容易にできるから、女性にとつては都合のいい服である。立ちションが男の特権(？)なら、インドでは平等に、ドラえもん^{ドラえもん}の「どこでもドア」みたいに、女性もしゃがみションの「どこでもトイレ」も有りなのだ。



下校途中の子どもたち(ジャンシー駅にて)

総本山誓願寺だより

平成22年3月、誓願寺会館南側に「松花苑」と

名付けられた枯山水の庭園が完成しました。

「松花苑」には三つの楽しみ方があります。一つは、法然さまが弥陀の化身と仰がれた善導さまの「二河白道」の教えを表現しています。手前が私たちの住む娑婆世界、向こう側がお浄土です。娑婆世界にはお釈迦さまの石が配置され、お浄土には弥陀三尊の石が配置されています。真ん中に配置された橋（白道）の両側には、火の河（人間の怒りを表す）と水の河（人間の煩惱の深さを表す）がそれぞれ赤い石、青い石で表現されています。怒りや煩惱に惑わされる私たちが、この世でお釈迦さまに助けられ、あの世で阿弥陀さまに助けていただく、そんな世界が表現されています。

二つ目は、二条城の庭園でも有名な「加茂の七石」が配置されています。是非、「松花苑」と二条城の庭園と比較してみましょう。

三つ目は、四季折々の花を観賞できます。落語で有名な安楽庵策伝上人ゆかりの椿や、江戸時代に誓願寺が梅の名所と呼ばれた頃を彷彿とさせる未開紅や垂れ梅、春には枝垂れ桜、秋には紅葉が楽しめます。皆さまのお越しをお待ちしています。

おもな行事予定

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 八月 | ●十五日(日)
六阿弥陀功德日 |
| ●十六日(月)
精霊送り・盆施餓鬼 | |
| ●十九日(木)～二十日(金)
少年少女参拝団 | |
| 九月 | ●十八日(土)
開山歴代忌・六阿弥陀功德日 |
| ●二十日(月)祝～二十六日(日)
秋彼岸 | |
| 十月 | ●二日(土)
お待ち受け法要(蒲都市 真如寺) |
| ●八日(金)
六阿弥陀功德日 | |
| ●十日(日)
お待ち受け法要(豊田市 宝樹院) | |
| ●十一日(祝・月)
策伝忌 | |
| ●十七日(日)
お待ち受け法要(篠山市 浄土寺) | |
| ●二十四日(日)
お待ち受け法要(岡崎市 圓福寺) | |
| ●三十一日(日)
お待ち受け法要(西尾市 養寿寺) | |
| 十一月 | ●二十日(土)
総本山西山忌 |
| ●二十四日(水)
六阿弥陀功德日 | |
| 十一月 | ●二十四日(金)
お身拭式・六阿弥陀功德日 |
| ●三十一日(金)
除夜の鐘 | |

クイズコーナー

【問題】

法然さまは「池の水」を「〇の〇」に似ているとおっしゃったでしょうか？〇に当てはまる言葉を入れお答え下さい。

〇の〇

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺だな寺、感想や質問を必ず書いて送ってください。今回は、崇福寺さまより大日如来様の厄除御守を5名さま、銭洗弁財天の御福銭を5名さま、本山謹製線香を5名の方に、合計15名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒444-3523

岡崎市藤川町字中町南十五番地
稱名寺内 ちかい編集係

答え〇の〇
郵便番号

住所
氏名
菩提寺(だんな寺)
感想・質問等

【締切】

九月三十日
(消印有効)

ちかい

第129号

発行日 平成二十二年七月一日
発行所 浄土宗西山深草派

総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (〇七五) 二二一〇九五八
FAX (〇七五) 二二一〇一九
E-mail seiganji@skyblue.ocn.ne.jp

何でも お寺探偵団 崇福寺

Vol.27



稲吉満了師 崇福寺
(いなよし まんりょう) 第51住職

昭和18年3月27日岡崎市田口町にある萬福寺の二男として生れる。昭和58年萬福寺第37代住職拝命、平成6年崇福寺第51代住職拝命

今回は、愛知県中島町の「蘆菴山」許応院 崇福寺を訪ねました。

Q1 お寺の由来を 教えてください

崇福寺の歴史は、応永年中(1394~1427)由良光家公が三州占部から光誉天祐上人を招いて、中島の昌泰寺の住職とされたことに始まります。天祐上人の入寺を機に宗旨を浄土宗西山深草派とし、寺号も崇福寺と改称されました。

天祐上人は、もとは播州法福寺で学んだ人で、赤松円心入道の孫

と伝えられています。赤松家は、有名な「嘉吉の乱」で室町六代將軍義教を暗殺しますが、その後の戦に敗れ、京都や播磨国から追われてしまった一族です。この大事件は、

天祐上人の三河への移住、さらには西山深草派の三河進出とも深い関わりがあると考えられています。

崇福寺は、深草派の拠点寺院となり、やがて僧侶を養成する三檀林の一つとして、大いに栄えました。第8世から第10世住職には徳川家康の従兄弟が入り、一向一揆に際しては近隣の蜂起を未然に防いだことで、家康から褒を与えられています。

その後、時代の変遷を経て檀林としての役割も変わってきましたが、寛永17年(1640)造営の本堂を始めとする伽藍に往時の面影を偲ぶことができます。

Q2 お寺の宝物は 何ですか?

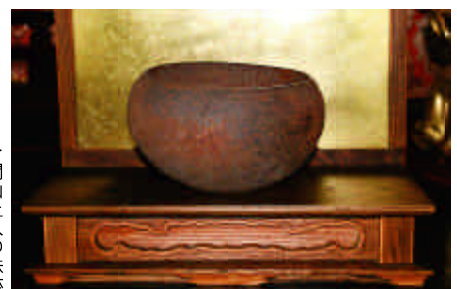
当麻曼荼羅、涅槃図、十王尊図、特



▶ 本堂



▶ 開山上人の法衣



▶ 開山上人の鉄鉢

に開山天祐上人の法衣・鉄鉢は、お寺にとって大変な宝物であります。

Q3 「ちわい」読者に 一言お願いします。

浄土宗西山深草派の歴史を解明し、全国に広めることに人生を掛けています。浄土真宗の祖師・親鸞聖人の思想だとされていた「悪人正機」は法然上人の思想として西山深草派には伝わっていたことを、平成5年9月1日にNHKで放送された『歴史発見』で紹介しました。

Q4 「ちわい」読者に 何か頂けませんか?

大日如来様の厄除御守を5名さま、銭洗弁財天の御福銭を5名さまに差し上げます。

【主な行事】

- 修正会 元旦から3日まで
- 御忌 2月第2日曜日
- 春彼岸会 3月21日
- 善導忌 4月13日、14日
- 盆施餓鬼 8月第1日曜日
- 秋彼岸会 9月23日
- 西山忌 (併修十夜法要) 11月第2日曜日
- 開山忌 12月11日

【お問い合わせ】

崇福寺 〒444-0226
愛知県岡崎市中島町道海 1
TEL 0564-43-2608
FAX 0564-43-2979

▶ 十王図の五七日閻魔大王

